

ふるさと
の180
の誇り



博レポート

ふるさと文化伝承館テーマ展
にしごおり果物のモセモ

2022年12月21日(水)
まで開催中!



市内の果物の
歴史がわかる。ふ
るさと文化伝承
館へGo!

- 徳島堰の完成 1670
- 日本スモモ、米国へ
- 米国で改良されたスモモ逆輸入
- ビュテー、サンタローザ、ソルダム
- ケルシー
- フォルモーサ
- 昭和
- 太平洋戦争
- 徳万杏、米桃李、パーバング
- 落合共選所整備 1964
- 釜無川右岸土地改良事業
- スプリンクラーによる散水 1974
- メスレー
- 大石早生 1952
- 太陽 1969
- 山形県からハリウッド受粉導入 1986頃
- 貴陽が世界一重いスモモとして
- ギネスブック世界記録に認定 李王 1990
- 平成
- 貴陽 1996
- サマーエンジェル 2005
- サマービュート 2005
- 皇寿 2012
- ふかさわ 2018
- 令和

梅雨の雨に潤され、市内各地でスモモが赤く色づきはじめました。南アルプス市は市町村別スモモの出荷量で全国1位を誇ります。なかでも落合地区は江戸時代からスモモ栽培が盛んな地域で、現在までさまざまな試みを繰り返しながら、スモモの里への道を進んできました。



梅雨の雨に潤され、市内各地でスモモが赤く色づきはじめました。南アルプス市は市町村別スモモの出荷量で全国1位を誇ります。なかでも落合地区は江戸時代からスモモ栽培が盛んな地域で、現在までさまざまな試みを繰り返しながら、スモモの里への道を進んできました。



徳島堰の水で潤された落合では、現在まで太陽やサマークイーン、サマーエンジェルなどの新品種が導入されただけでなく、李王や貴陽、皇寿など落合で開発された新たな品種も加えられ小規模ながらスモモ栽培が続けられ、昭和30〜40年代には養蚕が主産業となり、帰国後無開封だった缶詰を開けてみたところ品質が変わりがなく驚き、喜んだというエピソードが伝えられています。この頃の落合の春はモモやスモモの花で彩られていたでしょう。明治45年(1912)春、甲府青果商組合の主催する花見では百腰山に登り、咲き誇るそれらの花々を楽しんでいたようです(『甲西町誌』)。

祝 徳島堰 国登録記念物へ!
6月17日(金) 国文化審議会が文部科学大臣へ徳島堰を国登録記念物へ新たに登録するよう答申を出しました。



国に歴史的な価値も認められたのね!

なスモモが生み出され続けています。また、昭和61年(1986)頃、落合果樹部会が山形県の視察時に発見したハリウッドの受粉について、山梨県に導入を促し、以後多くの品種のスモモが安定して実るようになりました。このように地域の人々のたゆまぬ試みと徳島堰のスプリンクラーの設置など施設整備によって現在の日本を代表するスモモ生産地が生まれ、成長してきたのです。

文/写真 文化財課

落合地区のスモモと徳島堰
ぼたんきょう
～牡丹杏から続く歩み～ ※1

2022.6.16 落合共選所から出荷される大石早生

時代の落合村(塚原・湯沢・秋山・川上・落合)の地域。「控」が「扣」となっている。「爾」は「その」の意味。系.進は深沢富三の妻の弟。 ※4: 鉄輪をつけがたがたと大きな音を立てて走る乗合馬車(『大辞泉』)。